

衆議院総務委員会ニュース

【第 213 回国会】令和 6 年 3 月 14 日（木）、第 9 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 阿部司君（維教）

補欠選任 理事 中司宏君（維教）（理事阿部司君今 14 日理事辞任につきその補欠）

2 放送法第 70 条第 2 項の規定に基づき、承認を求めるの件（内閣提出、承認第 1 号）

- ・松本総務大臣から趣旨の説明を、稲葉日本放送協会会長から補足説明をそれぞれ聴取しました。
- ・松本総務大臣、渡辺総務副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）日本放送協会経営委員会委員長 古賀信行君

日本放送協会会長 稲葉延雄君

日本放送協会専務理事 小池英夫君

日本放送協会専務理事 山名啓雄君

日本放送協会理事 根本拓也君

（質疑者）井原巧君（自民）、中川貴元君（自民）、平林晃君（公明）、道下大樹君（立憲）、奥野総一郎君（立憲）

（質疑者及び主な質疑事項）

井原巧君（自民）

- （1） 事業支出の削減に当たり力点を置く箇所
- （2） 人材確保・外部制作事業者の活用等の番組制作環境の整備方針
- （3） 中継局の共同利用に対する民間放送事業者の期待、検討状況及び今後の見通し

中川貴元君（自民）

- （1） 稲葉NHK会長のコンテンツの質と量についての考え
- （2） 世帯数の減少下における次期中期経営計画での収入見通し、番組提供、来年度予算編成
- （3） 地方ニュースの時間の確保についての今後の方針

平林晃君（公明）

- （1） NHK次期経営計画と令和 6 年度予算案
 - ア 設備の災害対策及び偽情報・誤情報対策
 - イ 「信頼できる多元性確保への貢献」の意義と実現方法
 - ウ 「二元体制の維持」の取組と将来の受信料負担の軽減との関係
 - エ NHKが掲げる「新たな営業アプローチ」の具体的な方針
 - オ 令和 6 年度から開始される新しい委託制度の具体的な内容
- （2） 放送法改正案
 - ア 理解増進情報の法改正後の在り方
 - イ インターネット配信に関する料金等の詳細

道下大樹君（立憲）

- (1) NHKを詐称した投稿に対する措置の実施状況
- (2) 事業収入の大幅減少は受信料値下げの影響であるとの考えに対するNHKの見解
- (3) 令和9年度までの事業支出削減に伴う大規模なサービス低下の危惧に対するNHKの見解
- (4) 今後の受信料収入確保や支払率向上に向けた方策
- (5) 地域放送番組の充実に向けた今後の取組の方向性
- (6) NHKにおける春闘交渉と賃上げの見解
- (7) インターネット活用業務の必須業務化を受け入れるとした日本新聞協会の表明に対するNHKの受止め

奥野総一郎君（立憲）

- (1) 令和6年能登半島地震
 - ア 地震による放送の停波状況及び現在の復旧状況
 - イ 今回明らかになったNHKの課題及び今後の対応策
- (2) かんぽ生命保険の不適切契約を報じた「クローズアップ現代+」をめぐる経営委員会が会長を厳重注意した問題
 - ア 録音データの開示などを命じた東京地裁判決に対する稲葉NHK会長の受止め
 - イ 同問題に対する古賀経営委員長の見解
 - ウ 放送法第41条の趣旨及び開示の基準の見直しについての古賀経営委員長の見解
- (3) 受信料
 - ア 受信料の支払率が減少するとした理由及び今後77%で下げ止まるとした要因
 - イ 副次収入確保の方向性
- (4) 番組制作費を増やす必要性